

大阪市立大学文学部 住吉区民への授業開放

大阪市立大学文学研究科は、住吉区との連携協定に基づく地域貢献事業として、文学部の授業を住民のみなさんに開放する事業を行います。

時期：平成29年11月6日（月）～11月14日（火）

場所：大阪市立大学杉本キャンパス各教室

- ・期間中の文学部専門授業を、聴講を希望する住民のみなさまに開放いたします。大阪市立大学文学部の授業にご関心をおもちの住民のみなさまのご参加をお待ちしております。
- ・開放する授業科目、開放日、曜日時限、担当教員、開放する日の授業の概要を参考に、参加を希望する授業科目を記載し、申し込みを行ってください。申込締め切りは10月13日（金）となります。
- ・各授業には受け入れ上限人数が設定されています。上限を超える参加申し込みがあった場合抽選となります。
- ・参加受付が受理されましたらメールまたはファックスにて参加票を送付いたします。当日は担当教員に参加票をお渡しください。
- ・申し込みに関する問い合わせ先：詳細は <http://www.city.osaka.lg.jp/sumiyoshi/page/0000407284.html>
住吉区役所教育文化課 担当：矢倉・坂本 TEL：6694-9989 FAX：6692-5535
E-Mail：tu0012@city.osaka.lg.jp
- ・各授業についての問い合わせ先：
大阪市立大学文学部 地域貢献委員会 chikouken@lit.osaka-cu.ac.jp

開放授業一覧

科目名	開放日	時間	担当教員	受入人数	授業概要	教室
国文学史Ⅱ	11月6日（月）	10:40~12:10	山本 真由子	10	平安時代の漢文学の展開を考える授業の5回目。天神様、菅原道真の漢詩文を読む。道真を抜擢した宇多天皇は、重陽の宴の翌日に後宴を賜い、漢詩文を作らせた。後宴の道真の漢詩文を読み、宇多朝の漢文学の特徴を考える。	128
日本史特講Ⅳ	11月6日（月）	10:40~12:10	磐下 徹	5	奈良・平安時代の国家体制や地方統治のあり方を考える上で、現地の有力者から任用される郡司は、重要な存在である。本講義では、この日本古代の郡司について、郡司と天皇の関係や郡司層の動向に着目し、制度面と実態面の双方から考えていきたい。	123
社会学特論Ⅱ	11月6日（月）	13:00~14:30	笹島秀晃	5	本講義では、都市の文化の多様な側面を、空間における意味・象徴・記憶といった広義の文化や、ショッピング・スポーツ・アートといった狭義の文化に関する事例の紹介をとおして検討していく	134
哲学史通論Ⅱ	11月7日（火）	8:55~10:25	高梨 友宏	10	哲学史通論Ⅱではデカルト、スピノザ、ライブニッツに代表される、17世紀ヨーロッパのいわゆる大陸合理論の諸思想を紹介いたします。授業日にはのちの「身心問題」の端緒となったデカルトの『情念論』を扱う予定です。	128
言語比較論演習	11月7日（火）	13:00~14:30	田中 一彦	5	日本語と英語の表現構造の違いに関する説明理論を批判的に概観し、日本語話者の表現構造と英語話者の表現構造の本質的な違いとその原理を具体例を通して検討する。	133
英語学概論Ⅱ	11月7日（火）	13:00~14:30	豊田 純一	10	言語と言うのは任意に作られたのではなく、文化や認知に基づいて構築されてきたものである。これを英語や日本語を中心に、世界の言語も交えながら考察していく。	134
人間文化概論Ⅱ	11月7日（火）	14:45~16:15	平田 茂樹	5	人間文化概論Ⅲは、歴史学の研究方法を学ぶ授業ですが、第6回「時代区分（2）」では、中国史の「古代」「中世」「近世」の三時代区分法の特徴と、時代の変化の捉え方について講義をします。	137
文化理論	11月7日（火）	14:45~16:15	野末 紀之	3	この日の講義では、20世紀前半における「ポピュラー・カルチャー」の定義づけの試みと、それが孕む問題点について考察する。特権的な教養や文化からの侮蔑的視線、それへの抵抗の可能性をおもに取上げる予定。	711c
学習心理学特論	11月8日（水）	8:55~10:25	佐伯 大輔	5	心理学において学習とは、個体における経験による長期の行動変化のことを指すが、この授業では、行動分析学における、人間や動物を対象とした学習に関する基礎的な概念について解説し、実験例や実践例を紹介する。	122
表現文化論特論	11月8日（水）	13:00~14:30	増田 聡	10	21世紀初頭のポピュラー音楽環境を、複製技術、主体性の変容、産業構造と所有意識などの観点から検討する講義。当日は現代ポピュラー音楽の送り手主体の変容についていくつかの具体例を元に講じる予定だが、授業の進捗によっては別のテーマとなる可能性もある。	127
フランス語学概論	11月14日（火）	8:55~10:25	福島 祥行	10	言語の社会の歴史から仏語史をたどるこの授業。この回は、仏語の直接の母であるラテン語と、ラテン語以前に話されていたケルト語について、ラテン語とはどんな言語か、支配と被支配とはなにかの観点から考えます。	122
地誌学Ⅱ	11月14日（火）	8:55~10:25	祖田 亮二	5	日本文化は河川文化とも言われる。地形的に水害を受けやすい一方、その河川を様々な形で利用してきた。治水と・利水のための改修も行ってきた。河川との関係から、多くの技術や文化が生み出され、現在にも生きている。	137
中国学演習Ⅰ	11月14日（火）	10:40~12:10	岩本 真理	3	中国の言語学者によるエッセイを集めた教材、『ことばのふしぎ—中国語学読本—』を精読する。注を参考に読み進む内に、日本語とも英語とも異なる「中国語のことばの妙味」に気づかされるであろう。	L322
教育学概論Ⅰ	11月14日（火）	13:00~14:30	柏木 敦	5	テキスト村井実『原典による教育学の歩み』（講談社、1974年）の第二章「伝統と革新」に含まれているランベール『娘への忠告』、オーウェン『ニューラナーク住民への講演』等を読み、内容を検討する。	L142

* 教室について：冒頭に1のついている教室は1号館、Lのついている教室は文学部棟、711cは法学部棟になります。